

2018年 公開研究会のご案内

学校と子どもの貧困

なぜ、学校は子どもの貧困に取り組むことが難しいのか

期 日 7月28日(土) 14:15~16:30

場 所 かながわ労働プラザ (Lプラザ) 第10会議室

基調報告 土屋 佳子 氏 パネリスト 高校の教職員

参加費 無料 定員25人

主 催 (一財)神奈川県高等学校教育会館教育研究所

2015年の子どもの貧困率は約14%です。経済的に困窮した子どもたちが学校に在籍しています。また、それは高校によって深刻さに大きな偏りがあります。しかし、相対的な貧困は見えにくく、それが職員間で話題になるとしても、効果的な支援ができていない現実がありそうです。減らない中退者、連携を模索中のSSW、ベテランの経験が継承されない職場、教職員の多忙化など、そして学校はどこまで保護者や生徒たちの背景に関与するべきなのか。課題は山積しています。

今年度の公開研究会では、昨年度の「教務内規のゼロトレランス化」を受けて、学校が子どもを排除せず支援に向かうための手がかりを考えたいと思います。

なお、研究会終了後には、若者就労支援の現場で懇親会を開催します。会場は、K2インターナショナルの直営店、石川町駅近くの「お好み焼き ころんぶす」の予定です。(申しわけありませんが、会費制となります。)



土屋 佳子 氏

日本社会事業大学災害ソーシャルワークセンター客員准教授・同大学専門職大学院非常勤講師(スクールソーシャルワーク担当)、早稲田大学教育学部非常勤講師/東京都都立高校自立支援チーム統括スーパーバイザー、福島県等スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー等。栃木県高根沢町において、文部科学省のスクールソーシャルワーカー活用事業が始まる前からスクールソーシャルワーカーとして活動。東日本大震災後は福島県にも赴任し、学校・地域での支援活動にあたる。立教大学文学部教育学科卒。福島大学大学院修了(学校福祉臨床領域)。京都大学人間・環境学研究科在学中。社会福祉士。スクールソーシャルワークに関する著書多数。

(一財)神奈川県高等学校教育会館教育研究所

〒220-8566 横浜市西区藤棚町 2-197

Tel:045-231-2546

e-mail:GAE02106@nifty.ne.jp

※ 大変申しわけありませんが、会場の関係で申込み制になっています。

参加希望者は下記にご氏名等をご記入いただき、この用紙のままFAXにて送信するか、上記アドレス宛にメールを送付ください。

定員をこえた場合のみ、こちらからご連絡いたします。

氏名	所属	連絡先(電話番号・メールアドレス等)

FAX 045-241-2700